

有機農業実践者アンケート調査結果

福島県農業総合センター有機農業推進室

質問事項	No.	回答内容	全体 (実施数177)			中通り (実施数62)			会津 (実施数82)			浜通り (実施数33)			考 察
			回答数	構成比(%)	回答	回答数	構成比(%)	回答	回答数	構成比(%)	回答	回答数	構成比(%)	回答	
1 主たる従事者の方にお伺いします。 ①主たる従事者の年齢は？	1	20代	0	0.0	79	0	0.0	24	0	0.0	37	0	0.0	18	各地区とも主たる従事者は60歳以上が過半数を占めている
	2	30代	4	5.1		1	4.2		3	8.1		0	0.0		
	3	40代	5	6.3		2	8.3		2	5.4		1	5.6		
	4	50代	24	30.4		7	29.2		10	27.0		7	38.9		
	5	60代以上	46	58.2		14	58.3		22	59.5		10	55.6		
②従事者数は？	1	1人	16	20.3	79	6	25.0	24	5	13.5	37	5	27.8	18	各地区とも1経営体あたりの従事者は2名が過半数を占めている
	2	2人	41	51.9		12	50.0		20	54.1		9	50.0		
	3	3人	15	19.0		5	20.8		7	18.9		3	16.7		
	4	4人	3	3.8		0	0.0		3	8.1		0	0.0		
	5	5人以上	4	5.1		1	4.2		2	5.4		1	5.6		
③有機農業の経験年数は？	1	2年未満	4	5.1	78	2	8.3	24	1	2.7	37	1	5.9	17	各地区とも主たる従事者の経験年数は10年超が半分近くを占めている。 会津地区では過半数を超える割合になっている。
	2	3～5年	16	20.5		7	29.2		6	16.2		3	17.6		
	3	6～10年	21	26.9		5	20.8		10	27.0		6	35.3		
	4	10年超	37	47.4		10	41.7		20	54.1		7	41.2		
④有機農産物の販売先(出荷先)？(複数選択可)	1	消費者に直販	53	68.8	77	14	58.3	24	28	75.7	37	11	68.8	16	有機農産物の販売方法は消費者への直接販売が最も多く、次いでJA、集荷業者、直売所と続く。 浜通り地区では生協等への販売がなされていない。
	2	直売所	26	33.8		8	33.3		12	32.4		6	37.5		
	3	JA、集荷業者	33	42.9		10	41.7		15	40.5		8	50.0		
	4	卸売市場	10	13.0		1	4.2		7	18.9		2	12.5		
	5	生協等	17	22.1		6	25.0		11	29.7		0	0.0		
	6	その他()	18	23.4		5	20.8		10	27.0		3	18.8		
⑤震災及び原発事故に伴う被害がありましたか？	1	はい	53	69.7	76	15	65.2	23	19	54.3	35	18	100.0	18	全体の約7割に被害が見られ、浜通り、中通り、会津の順に多い。
	2	いいえ	23	30.3		8	34.8		16	45.7		0	0.0		
「はい」と答えられた方にお伺いします ア どこに被害がありましたか？(複数選択可)	1	家屋	27	52.9	51	10	66.7	15	5	29.4	17	12	66.7	18	被害は、家屋、作業場等の施設と農地に見られる。 浜通り地区に多く、会津地区ではやや少ない。
	2	農業施設(作業場等)	15	29.4		4	26.7		3	17.6		9	50.0		
	3	農業施設(ハウス等)	7	13.7		1	6.7		1	5.9		5	27.8		
	4	農業機械	4	7.8		0	0.0		0	0.0		4	22.2		
	5	農地	26	51.0		6	40.0		5	29.4		14	77.8		
	6	その他()	10	19.6		3	20.0		6	35.3		1	5.6		
イ どのような被害でしたか？(複数選択可)	1	損壊・損傷	30	61.2	49	11	68.8	16	6	40.0	15	12	66.7	18	家屋、作業場等の施設の損壊、損傷が最も多い。 農地の放射能汚染が次いで多い。 浜通り地区では避難地域等の設定による耕作ができない被害が見られた。
	2	消失		0.0			0.0			0.0		0	0.0		
	3	浸水による塩害	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
	4	土砂流入・耕土流出	1	2.0		2	12.5		0	0.0		0	0.0		
	5	警戒区域、計画的避難区域になり耕作不能	10	20.4		0	0.0		0	0.0		10	55.6		
	6	その他()	20	40.8		7	43.8		10	66.7		3	16.7		
ウ 現在の住まいはどちらですか？ ※以下 ウ から コ までは浜通り地区のみの質問事項です。	1	自宅										12	66.7	18	自宅以外に避難を余儀なくされている経営体が回答者の3分の1存在する。
	2	仮設住宅										2	11.1		
	3	民間アパート										2	11.1		
	4	その他()										3	16.7		

内 訳
(順不同)

有機専門業者	外食店	自然食品店
観光協会	ナチュラルハウス	学校給食、保育園給食
ネット通販会社	大地を守る会	米屋
自然農法販売機構	自社利用	県外
自家利用	仲卸業者	

内訳(分類後)

物理的被害	3
放射能汚染	11
風評	6

質問事項	No.	回答内容	全体 (実施数177)			中通り (実施数62)			会津 (実施数82)			浜通り (実施数33)			考 察
			回 答 数	構 成 比(%)	回 答	回 答 数	構 成 比(%)	回 答	回 答 数	構 成 比(%)	回 答	回 答 数	構 成 比(%)	回 答	
⑥現在農業を実践していますか？	1	はい									15	83.3	18	自宅以外に避難を余儀なくされている経営体も含め全体の8割以上が農業を継続している。	
	2	いいえ									3	16.7			
「はい」と答えられた方にお伺いします。 ア どこで農業を行っていますか？			コ にお進みください。												
	1	震災前と同じ									11	73.3	15	震災前とは別のところでも農業を継続している経営体が全体の4分の1以上見られる。	
	2	避難先の市町村等									4	26.7			
「前と同じ」と答えられた方にお伺いします。 イ 農業の規模は震災前と変わりましたか？			カ にお進みください。												
	1	変わらない									6	50.0	12	今回の回答では、震災前に比べ半分の経営体が経営規模を縮小した。	
	2	少し小さくなった									2	16.7			
	3	大幅に縮小した									1	8.3			
	4	自家用程度									3	25.0			
ウ 農業の内容は震災前と変わりましたか？															
	1	変わらない									7	58.3	12	農業の内容は震災前とあまり変わっていない。	
	2	少し変わった									2	16.7			
	3	大幅に変更									3	25.0			
エ 有機栽培を継続していますか？															
	1	はい									10	83.3	12	多くが有機農業を継続している	
	2	いいえ									2	16.7			
「いいえ」と答えられた方にお伺いします オ 有機栽培をやめた(中止した)理由は何ですか？(複数選択可)															
	1	各種資材の確保が困難									0	0.0	3	放射能の影響もしくは耕作する農地の確保ができなかったためである。	
	2	放射能の影響を懸念									2	66.7			
	3	格付けを中止したため									1	33.3			
	4	農地を確保できない									2	66.7			
	5	その他()									1	33.3			
アで「避難先の市町村等」と答えられた方にお伺いします。 カ 耕作している農地は自作地ですか？借地ですか？															
	1	自作地									2	40.0	5	避難しつつも借地にて農業を継続している	
	2	借地									3	60.0			
	3	該当外									0	0.0			
キ 経営形態はどれになりますか？															
	1	個別									3	60.0	5	個別の経営が多い	
	2	共同									0	0.0			
	3	被雇用									0	0.0			
	4	自家用									1	20.0			
ク 栽培方法はどれですか？(認証の有無を問わず)															
	1	有機栽培									1	16.7	6		
	2	特別栽培									1	16.7			
	3	エコファーマー									0	0.0			
	4	慣行栽培									1	16.7			
	5	不明									1	16.7			
ケ 今後の農業経営をどのように考えますか？															
	1	従前通りの土地で実施を希望									3	75.0	4	多くが従前通りの場所で農業ができることを願っている	
	2	避難先等新たな土地で実施									1	25.0			
	3	農業を継続したいが場所は未定									1	25.0			
	4	離農									0	0.0			
	5	その他()									0	0.0			
⑥で「いいえ」と答えられた方にお伺いします コ 農業をしない理由は何ですか？(複数回答可)															
	1	有機農業できる農地がないため									2	66.7	3	放射能の影響が心配であり、農業を実施していない経営体も見られる	
	2	放射能被曝が心配なため									3	100.0			
	3	農産物の販売が期待できないため									0	0.0			
	4	農業への意欲が湧かないため									2	66.7			
	5	その他()									0	0.0			

質問事項	全体 (実施数177)				中通り (実施数62)			会津 (実施数82)			浜通り (実施数33)			考 察	
	No.	回答内容	回答 数	構成 比(%)	回 答	構成 比(%)	回 答	回 答	構成 比(%)	回 答	構成 比(%)	回 答			
2 有機農業の実態についてお伺いします。															
①有機栽培実面積 (a)		15,746.6	a		2,639.0	22	10,836.6	37	2,461.0	15				1経営体あたりの有機栽培面積は地区別では会津がもっと多く、中通りが最も少ない、また、年代別では50歳代、経験年数では10年超の経営体で最も多い。	
		平均	212.8	a	120.0	a	292.9	a	164.1	a					
②有機栽培面積延べ面積 (a)		15,834.3	a		2,517.0	22	11,156.3	33	2,461.0	14					
		平均	229.5	a	114.4	a	338.1	a	175.8	a					
うち最も作付けの多い作物名		水稲	45	63.4	71	9	42.9	21	22	61.1	36	13	92.9	14	有機栽培の実践においては水稲の作付けが最も多く、会津地区、浜通り地区で顕著である。 また、中通り地区においては野菜類等の作付けがやや多い。
		そば	3	4.2		1	4.8		2	5.6			0.0		
		トマト	2	2.8		1	4.8		1	2.8			0.0		
		じゃがいも	2	2.8		1	4.8		1	2.8			0.0		
		ネギ	2	2.8		2	9.5		0	0.0			0.0		
		アスパラガス	2	2.8		0	0.0		1	2.8		1	7.1		
③有機JAS認定を取得していますか？	1	はい	55	74.3	74	16	69.6	23	27	75.0	36	12	80.0	15	JAS有機認証は多くが個人で取得し、有機農産物を対象としている。 有機加工食品の認証を取得している経営体はない。
	2	いいえ	19	25.7		7	30.4		9	25.0		3	20.0		
「はい」と答えられた方にお伺いします。 （「いいえ」と答えられた方は「オ」にお進みください。） ア 認定のタイプはどちらですか？	1	個人	35	63.6	55	13	86.7	15	14	51.9	27	9	60.0	15	
	2	組織	16	29.1		2	13.3		13	48.1		1	6.7		
イ 認定の農作物はどれですか？(複数選択可)	1	有機農産物	52		55	16		16	26		26	10		10	認定の作物は米が全体の7割を占め、以下野菜・いも類、雑穀類と続く。
	2	有機加工食品	0			0			0		0	0		0	
ウ 認定の作物はどれですか？(複数選択可)	1	米	38	70.4	54	9	60.0	15	19	70.4	27	10	90.9	11	
	2	雑穀類	8	14.8		1	6.7		6	22.2		1	9.1		
	3	野菜・いも類	22	40.7		9	60.0		12	44.4		1	9.1		
	4	果樹	2	3.7		0	0.0		2	7.4		0	0.0		
	5	有機加工食品	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
	6	その他()	4	7.4		1	6.7		2	7.4		1	9.1		
エ 有機JAS認定面積 (a)		8,722.4			1,242.8	16	6,037.6	24	1,442.0	10				1経営体あたりの有機認証面積は有機栽培面積と同様の傾向を示している。	
		平均	174.4	a	77.7	a	251.6	a	144.2	a					
		実面積比	82.0	%	64.8	%	85.9	%	87.9	%					
「いいえ」と答えられた方にお伺いします オ 今後、有機JAS認定を取得する計画がありますか？	1	はい	10	37.0	27	3	37.5	8	5	31.3	16	2	50.0	4	年齢が若い世代ほど認定を志向する傾向がある。
	2	いいえ	17	63.0		5	62.5		11	68.8		2	50.0		
④経営耕地(借地を含む)に占める有機ほ場の割合は？	1	100%	22	32.8	67	5	26.3	19	11	31.4	35	6	46.2	13	全ほ場に占める有機栽培ほ場の割合は多くが50%未満であるが、浜通り地区、会津地区では50%を超える経営体が多い。
	2	50%以上	14	20.9		3	15.8		8	22.9		3	23.1		
	3	50%未満	31	46.3		11	57.9		16	45.7		4	30.8		
⑤原発事故以前と以後の経営内容は変わりましたか？	1	変わった	27	40.9	66	8	47.1	17	10	29.4	34	9	60.0	15	全体では変わらないという回答がやや多いが、浜通り地区、有機認証をとっていない経営体では変わったという意見が過半数を超えている。
	2	変わらない	39	59.1		9	52.9		24	70.6		6	40.0		
「変わった」と答えられた方にお伺いします。 ア 経営規模(作付面積)	1	増えた	4	11.8	34	1	10.0	10	1	7.7	13	2	18.2	11	有機栽培面積は全体の約半数が変わらない、全体の4割強が減ったとしている。
	2	変わらない	16	47.1		4	40.0		7	53.8		5	45.5		
	3	減った	14	41.2		5	50.0		5	38.5		4	36.4		
イ 作付け品目数	1	増えた	5	16.7	30	3	33.3	9	2	15.4	13	0	0.0	8	作付品目数は全体の約半数が変わらない、全体の4割弱が減ったとしている。
	2	変わらない	14	46.7		3	33.3		7	53.8		4	50.0		
	3	減った	11	36.7		3	33.3		4	30.8		4	50.0		
ウ 主力品目	1	変わった	9	33.3	27	4	50.0	8	3	23.1	13	2	33.3	6	全体の3分の2が、変わらないとしているが、40歳代、有機認証を取得していない経営体では変わったとの意見が多い
	2	変わらない	18	66.7		4	50.0		10	76.9		4	66.7		

質問事項	全体 (実施数177)				中通り (実施数62)			会津 (実施数82)			浜通り (実施数33)			考 察	
	No.	回答内容	回答 数	構成 比(%)	回 答	回 答	回 答	回 答	回 答	回 答	回 答	回 答			
3 有機農産物の販売についてお伺いします。 ①原発事故以降の売上(全体)は以前と比べてどうですか？	1	増えた	4	6.0	67	1	4.8	21	1	2.9	35	2	18.2	11	全体の4分の3以上で売上が減少している。
	2	変わらない	12	17.9		3	14.3		9	25.7		0	0.0		
	3	減った	51	76.1		17	81.0		25	71.4		9	81.8		
「減った」と答えられた方にお伺いします。 ア どのくらい減りましたか？	1	50%超	10	20.0	50	5	29.4	17	1	4.0	25	4	50.0	8	20~50%の減少が多いが、会津地区においては50%を超える事例は少なかった
	2	20~50%	22	44.0		8	47.1		13	52.0		1	12.5		
	3	20%未満	18	36.0		4	23.5		4	44.0		3	37.5		
イ 販売数量はどうですか？	1	増えた	1	1.9	52	0	0.0	17	1	3.8	26	0	0.0	9	全体の4分の3以上で販売数量が減少している。
	2	変わらない	10	19.2		4	23.5		5	19.2		1	11.1		
	3	減った	41	78.8		13	76.5		20	76.9		8	88.9		
ウ 販売単価はどうですか？	1	上がった	1	2.1	48	0	0.0	14	1	3.8	26	0	0.0	9	全体の7割強で販売単価は下がったとしている。 上がったという事例はきわめて少ない。
	2	変わらない	12	25.0		4	28.6		6	23.1		2	22.2		
	3	下がった	35	72.9		10	71.4		19	73.1		6	66.7		
「下がった」と答えられた方にお伺いします。 a どのくらい下がりましたか？	1	50%超	8	22.9	35	2	20.0	10	5	25.0	20	1	20.0	5	販売単価の減少は20%未満が多いが、全体の20%強で50%を超える減少となっている。
	2	20~50%	11	31.4		2	20.0		5	25.0		4	80.0		
	3	20%未満	16	45.7		6	60.0		10	50.0		0	0.0		
b 下げ幅の大きかった品目は何ですか？(複数選択可)	1	米	25	71.4	35	6	54.5	11	14	73.7	19	5	83.3	6	米が最も多く、次いで野菜・いも類、雑穀類と続く
	2	雑穀類	7	20.0		3	27.3		4	21.1		0	0.0		
	3	野菜・いも類	11	31.4		5	45.5		5	26.3		1	16.7		
	4	果樹	1	2.9		0	0.0		1	5.3		0	0.0		
	5	有機加工食品	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
	6	その他()	2	5.7		0	0.0		2	10.5		0	0.0		
エ 出荷先(取引先)の数はどうですか？	1	増えた	8	12.7	63	2	10.0	20	5	14.7	34	1	11.1	9	全体では半数が減ったとしているが、会津地区、経験年数5年未満では変わらない割合がやや多い
	2	変わらない	23	36.5		6	30.0		16	47.1		1	11.1		
	3	減った	32	50.8		12	60.0		13	38.2		7	77.8		
「増えた」と答えられた方にお伺いします a 増えた理由(複数選択可)	1	自己開拓	6	60.0	10	1	50.0	2	4	57.1	7	1	100.0	1	知人の紹介、自己開拓、関係機関等の紹介の順で多い
	2	知人の紹介	8	80.0		2	100.0		5	71.4		1	100.0		
	3	関係機関等の紹介	4	40.0		1	50.0		3	42.9		0	0.0		
	4	その他()	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
「減った」と答えられた方にお伺いします b 減った理由(複数選択可)	1	相手側の一方的拒絶	22	66.7	33	8	66.7	12	9	69.2	13	6	75.0	8	取引先から一方的に拒絶されされたのが全体の約7割となっている。 取引先と協議によるものも全体の4分の1強みられる。
	2	相手側との協議の結果	9	27.3		4	33.3		2	15.4		3	37.5		
	3	自分から申入れ	3	9.1		1	8.3		1	7.7		1	12.5		
	4	その他()	4	12.1		2	16.7		2	15.4		0	0.0		
4 有機農産物の生産について ①原発事故以前と以後の生産資材の調達、確保は変わりましたか？	1	変わった	25	37.9	66	11	55.0	20	10	29.4	34	4	33.3	12	原発事故前に比べ4割弱で変わったとしているが、中通り地区、50歳代、40歳代以下、従事者が3名以上ではやや高い。
	2	変わらない	41	62.1		9	45.0		24	70.6		8	66.7		
「変わった」と答えられた方にお伺いします。 ア 入手出来なくなった資材がありますか？	1	はい	25	80.6	31	11	84.6	13	11	78.6	14	3	75.0	4	
	2	いいえ	6	19.4		2	15.4		3	21.4		1	25.0		
「はい」と答えられた方にお伺いします。 a どのような生産資材ですか？(複数選択可)	1	堆肥・堆肥原料	17	70.8	24	7	70.0	10	8	72.7	11	2	66.7	3	堆肥・堆肥原料が多く、その他では床土、培土等が挙げられている
	2	生物農薬等	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		
	3	施設資材等	1	4.2		0	0.0		0	0.0		1	33.3		
	4	その他()	7	29.2		4	40.0		3	27.3		0	0.0		
b 代替資材を使用しましたか？	1	はい	16	61.5	26	7	70.0	10	7	58.3	12	2	50.0	4	全体の6割強で代替資材を利用している
	2	いいえ	10	38.5		3	30.0		5	41.7		2	50.0		
「いいえ」と答えられた方にお伺いします c そのために生育への影響はありましたか？	1	はい	8	47.1	17	2	40.0	5	4	44.4	9	1	50.0	2	代替資材を使わなかったことによる影響は意見が分かれた
	2	いいえ	9	52.9		3	60.0		5	55.6		1	50.0		

質問事項	No.	回答内容	全体 (実施数177)			中通り (実施数62)			会津 (実施数82)			浜通り (実施数33)			考 察
			回答 数	構成 比(%)	回 答	回 答	構成 比(%)	回 答	回 答	構成 比(%)	回 答	回 答	構成 比(%)	回 答	
②原発事故に伴い放射線汚染により使えなくなった資材はありますか？ 「はい」と答えられた方にお伺いします。 ア どのような生産資材ですか？(複数選択可)	1	はい	21	34.4	61	11	57.9	19	4	12.5	32	6	60.0	10	中通り地区、浜通り地区では使えなくなった資材があるという回答がやや多いが、逆に会津地区ではないという意見が圧倒的に多い
	2	いいえ	40	65.6		8	42.1		28	87.5		4	40.0		
イ 使用できなくなった資材の保管場所に余裕はありますか？	1	堆肥・堆肥原料	16	72.7	22	10	83.3	12	3	75.0	4	3	50.0	6	堆肥・堆肥原料が多く、次いで肥料・肥料原料となっている。
	2	肥料、肥料原料	7	31.8		3	25.0		1	25.0		3	50.0		
	3	施設資材等	2	9.1		0	0.0		1	25.0		1	16.7		
	4	ベタがけ資材等	3	13.6		0	0.0		2	50.0		1	16.7		
	5	その他()	2	9.1		1	8.3		1	25.0		0	0.0		
③現在、自分で解決できない課題はありますか？ 「はい」と答えられた方にお伺いします。 ア どの分野ですか？(複数選択可)	1	はい	45	76.3	59	17	77.3	22	17	65.4	26	11	100.0	11	全体の約4分の3で課題があるととしている。
	2	いいえ	14	23.7		5	22.7		9	34.6		0	0.0		
5 今後の有機農業について ①現在の有機農業経営を今後どのように考えていますか？ 「規模を拡大する」と答えられた方にお伺いします。 ア 拡大する理由は(複数選択可)？	1	栽培方法	3	6.5	46	2	11.8	17	0	0.0	17	1	8.3	12	放射能対策、風評等の販売対策、雑草対策の順で多い。
	2	雑草対策	10	21.7		3	17.6		2	11.8		4	33.3		
	3	土づくり対策	7	15.2		2	11.8		1	5.9		4	33.3		
	4	病虫害対策	4	8.7		2	11.8		0	0.0		2	16.7		
	5	放射能対策	26	56.5		11	64.7		9	52.9		5	41.7		
	6	その他()	13	28.3		2	11.8		7	41.2		4	33.3		
イ 縮小する理由は(複数選択可)？	1	規模を拡大	11	16.4	67	5	23.8	21	5	14.7	34	1	8.3	12	現状維持が過半数を占めるが、規模縮小が規模拡大を上回った。40歳代以下では規模拡大の考えが多い。
	2	現状維持	39	58.2		9	42.9		23	67.6		7	58.3		
	3	規模を縮小	17	25.4		7	33.3		6	17.6		4	33.3		
イ 縮小する理由は(複数選択可)？	1	労力に余裕	0	0.0	10	0	0.0	6	0	0.0	5	0	0.0	0	現在の規模が小さい、作付品目の変更の順に多い。
	2	現在の規模が小さい	5	50.0		3	50.0		2	40.0		0	0.0		
	3	作付品目を変更	3	30.0		1	16.7		2	40.0		0	0.0		
	4	その他()	2	20.0		2	33.3		1	20.0		0	0.0		
イ 縮小する理由は(複数選択可)？	1	高齢化	10	58.8	17	4	66.7	6	3	50.0	6	3	75.0	4	高齢化、その他(風評等による販売の影響)、収入が少ない、生産が不安定の順で多い。
	2	生産が不安定	4	23.5		2	33.3		1	16.7		1	25.0		
	3	病虫害	1	5.9		0	0.0		0	0.0		1	25.0		
	4	収入が少ない	5	29.4		1	16.7		1	16.7		3	75.0		
	5	その他()	8	47.1		5	83.3		2	33.3		1	25.0		

風評に伴う販売対策の回答多い

風評、販売への影響による意見多い